NO.4
東京女学館小学校
令和４年７月１日

学校だより

授業における相互啓発

小学校長　盛永　裕一

六月は、様々な場面で授業を見る機会がありました。そのいくつかを紹介します。

一年生の国語の授業。「おせんべい」「おせんべえ」「おせんべー」どれが正しいかを考えています。「べ」はのばすと「え」となるから「おせんべえ」が正しい。「おせんべい」と書いてあるのを見たことがある。ひらがなに「ー」はないから「おせんべー」はだめ。様々な考えを、子どもたちなりの表現で伝え合っていました。自分の経験や学習した内容を振り返って、論理的に考え、表現し、互いに高め合う姿がありました。

二年生の図工の授業。クレヨンで虹を描き、その上から黒で塗りつぶします。それを割りばしでひっかき、宇宙人を描く作品づくりです。できた作品を、タブレットで撮影をして、アプリで友だちに送ります。子どもたちはお友だちの作品を見て「〇〇さんの色がいいね」、「〇〇さん、もうできた」と鑑賞し合っています。タブレットを有効活用して、互いのよさを認め合う活動です。

四年生の算数の授業。「大きな数」の学習のまとめです。「私が今まで生きてきたのは何秒でしょう?」という課題です。「一分は六十秒だから、一時間は・・・」「十年生きているから、一年は三百六十五日で・・・」小さい単位から計算するか、大きい単位から計算するか。子どもたち同士で話し合っています。筋道立てて考え、問題解決に向けて話し合う場面でした。

どの授業も、子ども同士で認め合い、高め合う姿が見られました。学校の授業では、となりと相談したり、グループで話し合ったり、クラス全体で考えたりする場面があります。時には、考えがぶつかるときもあります。互いに譲らない場面も見られます。それを乗り越え学習集団がより高い次元にたどり着いたとき、子どもたちの自己実現があるのです。そして、友だちのよさを感じるのです。ここに、集団で学習している価値があるのです。授業における相互啓発です。

一年生は次の時間「おせんべい」が正しいことを知り、二年生はお友達の作品のよさ改めて味わい、四年生は大きな数の計算をすることにより自分の人生経験の長さを感じました。学習は、知識や技能を詰め込むだけではなく、様々な角度から考え、友達と考えを啓発し合い、新しい学習の扉を開く。このような問題解決の繰り返しが人間形成につながるのです。

日光校外学習５年生：５月 31 日～６月２日　　５年生担任

６年生にとっては３年ぶりの、そして５年生にとっては初めての宿泊となった日光校外学習。子どもたちはこの日を心待ちにしていました。出発の朝は、期待と不安が入り混じり緊張した面持ちでしたが、行程を一つひとつ楽しむことで達成感を得て朗らかな表情へと変わっていきました。自然や歴史に触れ、友達と寝食を共にする喜びを感じ、笑顔で帰校することができました。

私が一番楽しかったことは、二日目の夜のキャンプファイヤーです。久しぶりに声を出せて歌えたのもうれしかったし、何より体育委員さんが点火してくれた火が天まで届いたことがうれしかったです。そして、空を見上げるとたくさんのきれいな星が、浮かんでいました。その星たちは、まるで私たちのことを空から見下ろしているように輝いていました。東京では飛行機が近く、夜でも騒がしいのですが、日光では自然の中だからこそ、無音で心地よい空間でした。キャンプファイヤーをしたのは、これが初めてで、日光での体験があふれるように思い出されました。　　５年Ａ組　児童

今回、私は初めてヘビを触りました。最初かまれたりしたらどうしようと思っていましたが、様子を見ていたらおとなしかったので触ってみました。冷たいかなと思っていましたが、実際はあたたかくて、つるつるしていて、またボコボコしていました。つぶらな瞳も可愛かったです。「ヘビは３年後も５年後も優しくしてくれた人のことを覚えている。」というお話があったので、できる限り優しく接するように気を付けました。すると、舌をチョロチョロして私の腕までのぼってきました。こうした行動をヘビがとるのは信頼していい人なのか確認するためとのことです。ヘビは私のことをどう思ったのか気になりました。何年か後、私がこの施設に来た時に覚えていてくれたら嬉しいです。　　５年Ｂ組　児童

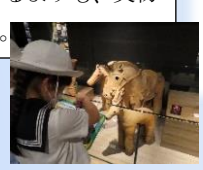
日光校外学習６年生：６月２日～３日

４．５年生で行けなかった日光に、特別に６年生で行くことになり、私はとてもうれしかったです。まず足尾で植樹をしました。おじ様達が前もって土をほってくださっていたのに、私達は作業に１時間もかかり、それをもし百本やるとすると百時間もかかることを知ってびっくりしました。他にも足尾銅山の見学をしました。当時の様子が再現されていて、とてもリアルでした。次の日にいった東照宮では二百七段の階段を上り、家康のお墓に行きました。入り口にいた「眠り猫」の裏にはすずめがほられていて、平和を表していると思いました。とても楽しい二日間でした。
６年Ａ組　児童

日光校外学習では、足尾環境学習センターのことが印象に残りました。そこでは足尾の歴史について、お話と映像で学びました。「〇〇さん」という方に、鉱毒の流れた川や足尾町の場所、鉱山の大きさや、どこから掘っていたのかなど、いろいろなお話を聞きました。私と同じ苗字の方に会うのは初めてで、うれしかったです。その後の植樹にも来ていただき、おしゃべりすることができました。１本の木を植えるのはとてもたいへんでした。自然を壊すのは簡単だけれど、育てるのは大変だということが、よくわかりました。　　６年Ｂ組　児童

６月６日　　Ａ組　児童

歴史の授業で習ったものが博物館で見られると思い、社会科見学を楽しみにしていました。色々な展示物があった中で、一番印象的だったのは、縄文土器です。「深鉢」という器の上の部分が考古学者には鶏のトサカに見えたそうです。私にとっては海の波に見え、近くにいた友達は火に見えたみたいです。よくよく見ると確かに火にも見えました。人によって見方がちがうことが面白いと思いました。教科書にのっている写真を見ているよりも、実物をみることで歴史をもっと学びたいと思いました。



６年生　　國學院大學博物館見学

６年生担任

６月６日に６Ａ、７日に６Ｂが國學院大學博物館へ社会科見学に行きました。両日とも本校のために貸切にしていただき、青銅鏡や勾玉、甕棺などを間近で見ることができました。「埴輪が自分の背丈くらい大きいサイズだと知り、びっくりした」など、本物からの学びを楽しみました。

６月７日　　Ｂ組　児童

縄文・弥生時代の埴輪や土器などを見るため、國學院大學博物館に行きました。６年生になって歴史の授業が始まり、写真でしか見たことがなかったものが見られるので、私はとても楽しみにしていました。博物館に入ってすぐ見えたのは、縄文土器。思っていたよりも大きく、迫力があって、とても驚きました。少し進むと馬の埴輪があり、本物の仔馬と同じくらいの大きさで、びっくりしました。その先には縄文人がつけていた耳飾りが、いろいろありました。大きい耳飾りをつけると、とても大きな耳たぶになっていました。実際に見て、大きさや色など写真ではわからないことがよくわかり、とてもうれしかったです。

全校日曜参観を終えて　　教頭　下田　栄子

６月 19 日（日）に全校日曜参観を行いました。３年ぶりまたは初めて校舎に入られた保護者の方も多く、教室や廊下での子どもたちの佇まいや掲示物などから、その成長ぶりに驚いていらっしゃいました。授業では、話し合い・発表・ディベート・作品制作等の活動が活発に展開され、お教室で友だちと共に高め合い、その中で一人ひとりが主体的に学びを深める、学校ならではの子どもたちの姿をご覧いただけたようです。１年生から iPad を難なく操作し有効活用している様子に時代の進化を実感された感想が多かったことは、今回の特長でした。また、お父様、お母様方も数カードをもってグループ作りに参加されたり、子どもからの質問に回答されたりして笑いが起きる場面も見られたそうです。授業参観だからこその温かいひとこまです。

１時間目と２時間目の２部制にし、１・３・５年生と２・４・６年生の開始時刻をずらすなど、保護者の皆様には、コロナ対策を講じての実施にご協力いただきありがとうございました。おかげさまで、オンラインではお伝えできない学校の息を感じていただくことが、久しぶりに叶ったことと存じます。

通学路別顔合わせ　６月７日（火）
通学路別下校　６月 21 日(火) 24 日(金) 28 日(火)
生活指導部　教諭

毎日、児童の皆さんは電車やバスを使ったり、歩いたりして登下校をしています。毎年、はじめに 1～6 年生まで同じ通学路のグループで集まり、顔合わせをしています。今年度は６月７日（火）の２時間目に実施しました。自己紹介をして班の名簿をつくり、上級生の班長を中心に何かあったら助け合って登下校できるように話し合いました。そして、６月 21 日（火）には通学路別下校訓練を行いました。新型コロナウィルス感染症の影響で約２年半ぶりの実施でしたが、２週間前に顔合わせしたお姉様妹さんで声をかけ合って上手に並び、安全に下校しました。６月 24 日（金）には誘拐予告への対応が発生し、2～6 年生が通学路別下校することになりました。訓練で学んだことをすぐ活かし、真剣に落ち着いて下校している姿が印象的でした。全校の保護者の皆様にも児童のお迎え、見守り等ご協力をいただき、感謝申し上げます。これからも乗り物のマナーや交通安全の意識を高めて安全に登下校できるよう声をかけてまいります。

水泳実習　（６月１５日～）　　体育科　教諭

６月 15 日から１学期の水泳実習が始まりました。各学年２時間続きの授業で、合計３回の実習を行います。低学年ではアヒルやカエル、ワニなどの動物に変身して水の中を移動する心地よさを感じます。中学年では、もぐったり浮いて進んだりする運動を通して水中での呼吸方法を学び、泳ぐ楽しさに触れます。高学年ではクロールや背泳ぎなどの泳法から、泳ぐ距離や時間を伸ばす喜びを味わい、水泳運動の技能を身に付けます。昨年度と同様に感染症対策をしながら、限られた時間の中で実りの多い実習にしてまいります。夏は水の事故が増える季節です。実習を通して、安全で楽しい水との関わり方を体得してほしいと思います。

私立初等学校教員一斉研修会（東京地区）
研究部　教諭

６月３日（金）に東京地区の私立教員対象の研修会がオンラインで行われました。他校の実践からの学び、そして最新の教育動向を踏まえた講演会等、専門部会ごとに幅広い研修が行われました。本校の先生方は、それぞれの部会で学んだことの報告資料を作成し、互いに共有することで、児童の教育に生かそうとしています。

すずかけ　着付け　日本舞踊（６月１０日～７月１日）　　すずかけ担当　　教諭

今年度のすずかけは、着付け、日本舞踊から始まりました。着付けはA先生（１・３・５年生）B先生（２・４・６年生）に、日本舞踊はC先生、D先生、E先生に、１年生は「紙人形」、２年生は「絵日傘」、３年生は「手習子」、４年生は「藤娘」、５年生は「新鹿の子」６年生は「さくら」をご指導いただきました。各クラス２時間ずつの短い時間で学べるよう、学年に応じてポイントを押さえて教えてくださいました。着付けも日本舞踊も１回目はぎこちなさがありましたが、２回目は上達がすばらしく、「覚えが早いですね」とお褒めの言葉をいただきました。着付けが出来ることや、着物を着た時の美しい立ち居振る舞いは、一生の財産になります。「着れば着るほど、上手に着られるようになりますよ。」と先生もおっしゃっていました。ご家庭でも浴衣を着ることを楽しんでいただけたら嬉しく思います。

「久しぶりの着付けと、ドキドキワクワク日本舞踊」　　４年Ｂ組　児童

着付けは、帯を結ぶ時にきつく結ぶと苦しく、ゆるく結ぶと踊りの時にゆるむので、その調整がむずかしかったです。少し忘れていることもあったので、心配でしたが、先生も手つだってくださり、上手に結ぶことができました。

日本舞踊は、最初はむずかしく、２回目も少しドキドキしました。特にしゃがんで前に進む動きがむずかしかったです。でも、どんどんなれていき、上手になったと思うので、よかったです。とても楽しいおじゅ業でした。

７月の生活目標
健康で安全な生活をする

気温や湿度が高い日が続く７月です。健康と安全に留意して元気に過ごし、１学期のしめくくりの月として有意義な生活が送ることができるように指導してまいります。

夏休みも間近となり児童の気持ちがゆるみやすい時期でもあります。不注意やはしゃぎすぎによるケガ、生活の乱れによる体調不良に気をつけて、落ち着いて生活できるように声をかけてまいります。ご家庭でも健康管理にご協力くださいませ。

７月 19 日（火）が１学期の終業式です。終業式間際に大きな荷物を持ち帰ると危険ですので、学期末の荷物の持ち帰りを計画的にできますようご家庭でもお声かけください。

七・八月の行事予定

７月　４日(月)　面談週間・4 時間授業(～7 月 12 日まで)
　　FUJI イングリッシュキャンプ児童説明会(5 年生希望者)13 時～
７月　５日(火)　3 時間授業(私学半日研修会)・軽食
７月　７日(木)　音楽朝会(七夕)・1、2 年七夕まつり
７月　８日(金)　体操朝会・5, 6 年夏季クラブ活動説明会 14 時～
７月　９日(土)　数学検定
７月 12 日(火)　給食終了
７月 13 日(水)　全校保護者会(9 時 30 分～11 時 30 分)
　　5 年つぼみスクール保護者コース・家庭学習日
７月 14 日(木)　家庭学習日
７月 15 日(金)　児童朝会・2 時間授業・3 校時大掃除・軽食・6 年着衣泳
７月 18 日(月)　海の日
７月 19 日(金)　1 学期終業式 8 時 20 分・2 校時学級指導
７月 20 日(水)　FUJI イングリッシュキャンプ 5 年希望者出発
　　7/22(土)まで 2 泊 3 日
８月　１日(月)　5・6 年校内夏季クラブ活動(～8 月 5 日(金)まで)